

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地
電話：0997(67)2211番
FAX：0997(67)2987番
発行所：宇検村役場
編集：企画課
URL <http://www.uken.net>
Mail kikaku@uken.net



CONTENTS

- P 2 ~ 3 第30回やけうちどんと祭
- P 4 ~ 5 むらの話題
- P 6 ~ 9 お知らせ
- P 10 ~ 11 みんなの広場・広告
- P 12 村民のうごき



8月に行われた『ちびっ子体験学習 in 奄美大島宇検村』のマンゴーハウスでの一コマ。全国から32名の子どもたちが参加し、宇検村の大自然を満喫しました！詳細は、次号で掲載します。



花火大会/ナイアガラの滝



祝 30周年記念

やけうちどんと祭



本村において夏の一大イベントとして村内外はもとより、本土の郷土出身者からも親しまれている「やけうちどんと祭」が三十周年を迎え、八月二日から三日にかけて盛大に開催されました。

前夜祭はメイン会場にて宇検村連合青年団主催によるイベントが行われ、恒例となったナンコ大会や本村公民館講座の舞踊教室・フランダース教室の皆さんによる華麗な踊り、歌謡ショーなどで盛り上がりました。

本祭りは、今年度に湯湾集落の沿岸に完成する予定

の県道でのパレードに始まり、会場では三十周年記念として行われた児童生徒ボクスターコンクールの表彰式や船こぎ競争、うなぎの掴み取り大会、島唄大会、八月踊りなどがあり、祭りムード一色でにぎわいました。

夜は群島一といわれる花火大会が行われ、連発、仕掛け、水中花火と様々な花火が打ち上げられ、三十周年記念として、焼内湾を横断する約七百呎の仕掛け花火『ナイアガラの滝』が復活するなど、島内外から集まった大勢の見物客を沸かせました。



パレード

波しぶきを上げて舟さばきを競った出場者へ、レースごとに岸壁からは盛んな声援が送られました。

子供会の部は、石良・須古地区のモンキーズが、一般の部は、名瀬から出場したシーハンターがそれぞれ優勝。

田検小学校の鼓笛隊を先頭に、保育所のちびっ子や各団体の様々な趣向を凝らした御輿がくり出され、最後は、各地区婦人団による毎年恒例「宇検音頭」の踊りがパレードに華を添えました。

船こぎ競争



宇検集落の皆さんが、八月踊りを披露。伝統ある集落の踊りで祭りを盛り上げた。

八月踊り



本村出身の唄者坪山豊さんと皆吉佐代子さんの唄声に、来場者の皆さんはウツリ。

盛大に祭を開催

30周年を記念する夏祭り。みんなで盛りあげた熱い夏を紹介します。



作品がポスターに選ばれた
と
小松瞳子さん
(田検小4年)



島唄大会



第1回 (昭和54年)

30年前、村民の輪を広め、自立自興の精神を養う目的から「産業文化祭」として祭りが始まりました。

写真は、「一番真っ黒に日焼けした子供はだれ？」と日焼けチャンピオンを決めるイベントのひとつコマ。

懐しむ夏の記憶

30年の伝統ある夏祭り。懐かしい夏の風景を少しだけ感じてみましょう。



第10回 (昭和63年)

10周年の年に、一般公募で名称を「やけうちどんと祭」と新たにしました。写真は祭りの目玉の一つであった大綱引き大会。

パレードを楽しむ大勢の見物客。安野商店(湯湾)の道路向かい。



第4回 (昭和58年)



運転指導を受ける参加者

電動車いすの安全利用教室

7月9日に芦検集落のゲートボール場にて『電動車いす交通安全教室』が行われ、電動車いすの利用者家族など約30名の方が受講されました。

この教室は、瀬戸内警察署が主催し、電動車いすによる事故防止を目的として、本村では初めて行われたものです。

教室では、久保 浩一郎交通課長が、6月から変わった道路交通のルールや電動車いすの安全な利用方法などを丁寧に説明し、その後、ゲートボール場へ作られた模擬道路にて、参加者全員が実際に電動車いすを運転しながら指導を受けました。

電動車いすの事故防止には、利用者の安全利用と地域の方に電動車いすを知ってもらうことが、とても大切だということです。

参加した電動車いす利用者の家族の方は、「教室は初めての体験で楽しくできました。ぜひ、これからも行ってほしいです。」と話してくれました。



女子3千㍎でスピードある見事な走りを見せ、準優勝した山内千尋さん

大島地区体育大会で熱戦

～陸上競技3選手が活躍みせる～

7月に5日間かけて奄美市にて行われた『第49回大島地区体育大会』へ、本村より監督・選手を合わせて、9競技へ94名が出場しました。

夏本番を向かえる暑さのなか、各競技場で熱戦を繰り広げ、出場した各競技とも昨年以上の成績を残しました。

陸上競技では、今年4月に東北福祉大を卒業後、本村へ転入された山内 千尋さん（田検）が共通女子3千㍎で大会記録を更新して準優勝に、今年初出場した幸 慎太郎さん（名柄）が共通男子110㍎障害で3位に、中田 信幸さん（名柄）が30歳未満走り幅跳びで見事に優勝し、出場者全員が3位以内に入賞する活躍を見せました。山内さんは、大島地区の代表として県の体育大会へ出場することが決まっています。県大会での活躍が楽しみです。

本村は、大島地区の12市町村のなかで総合12位・躍進賞3位の成績でした。



村役場会議室にて地デジの説明を受ける議会議員と区長の皆さん

八月一日に各集落区長及び、村議会議員の皆さまへ『地上デジタル放送開始へ向けての住民向け説明会』が行われました。これは、三年後に終了するアナログ放送から、デジタル放送へ移行する際に、住民の皆さまに混乱を招かないように完全移行することを目的として行われたものです。お知らせのページへ、地デジについて掲載をしていますので、ご覧下さい。今後も広報誌にて情報提供を行います。

地上デジタル放送の説明会を開催



目頃からチームを支える保護者と宇検男子バレーの皆さん (写真提供=保護者)

全九州小学生バレーで活躍 ～宇検男子ミニバレーがベスト8～

8月15日から17日までの3日間、佐賀県にて九州バレーボール協会などが主催する『第23回全九州小学生バレーボール男女優勝大会』が行われ、鹿児島県の代表として出場した宇検男子ミニバレー

ボールスポーツ少年団がベスト8に入る活躍を見せました。宇検男子ミニバレーは、3月に行われた西日本選抜の新人バレー大会に続いて、大きな大会での上位入賞となりました。

今大会男子の部へは、各県で行われた予選を勝ち抜いた24チームが出場しました。宇検男子は、予選リーグで2連勝し、決勝トーナメントへ進出。トーナメント1回戦で粕屋（福岡）と対戦し、第1セットを先取したものの、相手のサーブに崩され、1-2で惜しくも敗れました。

県代表として立派なプレーを見せてくれた宇検男子バレーの皆さんは、この経験を生かし、次ぎの目標へ向けて日々の練習に励んでいます。



アナリストとして柳本ジャパンへ招集された山下裕之さん

北京五輪で女子バレーを支える！

やました ひろゆき
～山下裕之さん（須古出身）がアナリストとして北京へ～

まだ、記憶に新しく、熱狂と感動に包まれた4年に一度のスポーツの祭典『第29回夏季オリンピック競技北京大会』で、本村出身の山下裕之さん（24）がアナリストとして、裏方で全日本女子バレーボールチームを支えました。

アナリストとは、スパイクやトスの方向などを数値に変えて記録・分析する仕事で、試合中にコートサイドからベンチヘデータを送ることができ、データ重視の現在のバレーボールには欠かせない存在です。

本村の田検中へ入学と同時にバレーを始め、その後も、県立鹿児島工業高校・日本体育大学と続けてきました。大学3年時に日体大の教授に推薦され、全日本女子チームのアナリストとして活動を始め、各世界大会へ帯同し、今回北京オリンピックへも招集されました。

全日本女子バレーは、前回のアテネ大会と同様ベスト8となりました。山下さんは北京で、戦術の調査・分析や相手チームの情報収集など、7人目の選手として一緒に戦い抜きました。



栄翔大くん 辰島千貴くん
認定証を手に「各地の選手との合宿で良い経験をした」と話す二人

少年柔道の強化指定選手へ宇検から二人
九州柔道協会が主催する九州ブロック小学生柔道合宿（九州各地から約二百三十名が参加）へ、宇検から田検小学校6年の栄翔大くんと辰島千夏さんが選ばれ、八月二十七日から三日間、大分県の湯布院で行われた合宿に参加しました。
この事業は、全日本柔道連盟が作成したトップレベルの競技者を育成するプログラムに基づき、次世代を担う青少年の育成を図ることを目的として行われています。